

令和4年度学校評価 計画

| | |
|--------------------------|---|
| 学校名 | 嬉野市立大野原小中学校 |
| 1 前年度 評価結果の概要 | ・学校経営ビジョンに基づく課題について、内容を焦点化して取り組むことができた。また、各担当の分担の偏りを減らし校務分掌との相関を意識して進めることができた。・本年度も、昨年同様、学校運営がコロナ禍に対応し、学校の組織力、各関係機関との連携を生かし、様々な学校行事や取組について保護者、地域の理解を得ながら進めることができた。特に、カリキュラムマネジメントの一環で、「総合的な学習の時間評価」において、大野原のバイオリン曲「心のふるさと」を、地域住民のバイオリニストによる作曲、児童生徒による作詞ができたことは、地域の方々からも大いに評価をしていただいた。 |
| 2 学校教育目標 | 輝く大野原っ子の育成 ～ 新しいことに挑戦 様々な人との協働, 社会に貢献 ～ |
| 3 本年度の重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力を育成する。 2 思いやりの心、豊かな心を育てる。 3 元気で健やかな心身を育てる。 4 地域愛に満ちた豊かな人間性や社会性を育てる。 |

4 重点取組内容・成果指標

| (1) 共通評価項目 | | | |
|---------------------------|--|--|--|
| 重点取組 | | | |
| 評価項目 | 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 |
| ●学力の向上 | ●全職員による共通理解と共通実践 | ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 | ・教職員間でのマイプランの共有化 ・学力向上コーディネーターによる、マイプラン進捗状況の把握と推進 |
| | ○(学校独自重点取組・任意) | ○「自分の考えを他者と協働しながらプレゼンテーション等で表現できた」と回答した児童生徒90%以上 ○新聞記事等を活用した授業の中で、「自分の考えを説明する場が持てた」「学び合い活動ができた」と回答した児童生徒90%以上 ○タブレット活用授業を年8回以上実施 | ・タブレットを積極的に活用した授業実践、及び、最低3か月に1度のプレゼンテーションの実施 ・「授業づくりのステップ1・2・3」を踏まえ、「自分の考えを説明する場」「学び合い活動」を取り入れた授業及びNIE活動の実践 |
| ●心の教育 | ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ●道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒90%以上 | ・年間計画及び発達段階を考慮した道徳授業の確実な履行 ・平和集会や人権集会の実施 ・保護者や地域、他校と連携した交流・体験活動の実施 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 | ●「いじめ予防・防止のための研修・会議、組織的対応ができて」と回答した教員90%以上 | ・いじめ防止、認知・覚知等について共通理解した上での組織的対応 ・いじめ予防(児童生徒理解含む)・対応についての研修・会議を年間に3回以上実施 |
| | ○「あすなろ会(児童生徒会)」を中心に児童生徒が主体的に取り組む活動の充実 | ○「様々な学校行事に主体的または積極的に取り組めた」と回答した児童生徒90%以上 | ・行事等へ企画段階からの「あすなろ会」の参加 ・行事の司会及び進行等に児童・生徒の積極的参加 |
| | ○夢や目標に向かい自ら進んで努力する児童生徒の育成 | ○夢を持ち、夢の実現に向け、「具体的目標を決めて努力している」と回答した児童生徒90%以上。 | ・学習や行事、体験活動や異学年交流で、自らの夢や目標に結び付いた振り返り活動の充実 ・キャリアパスポートを有効活用し、将来を見据えた、望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育の推進。 |
| ●健康・体づくり | ●「望ましい生活習慣の形成」 | ●「早寝早起き朝ご飯」、「食後の歯磨き」について肯定的な回答をした児童生徒90%以上 ●う歯がある児童生徒の歯科受診者90%以上 | ・発達段階に応じて、生活習慣についての自己評価(チェックカード等)の実施 ・保健だよりの発行 ・保護者への個別の連絡 ・歯科保健、ブラッシング指導の実施 |
| | ○安全に関する資質・能力の育成 | ○通学途中での、事故・事件0% ○学校生活でのけがによる保健室利用前年度比50% | ・登校班への日常的な指導の徹底 ・災害被害防止のための組織的対応の充実 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(1箇月について45時間、1年について360時間)を遵守 | ・定時退勤日及び部活動休養日の確実な履行 ・部活動や社会体育での外部指導員の積極的登用 ・学校閉庁日の設定と実行 |
| | ○自分磨きのための時間確保 | ○仕事と余暇や趣味とのバランスがとれていると感じている職員90%以上 | ・互助会報及び健康づくり情報誌スマイル「セルフケア編」の周知徹底及びラインケア編の活用促進 |

| (2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | |
|-----------------------|------------------------------|--|--|
| 重点取組 | | | |
| 評価項目 | 重点取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 |
| ○家庭・地域との連携 | ○カリキュラムマネジメントを生かしたコミュニティスクール | ○「学校・家庭・地域が三位一体となって児童生徒を育てている」と感じる教職員・保護者90%以上 | ・大野原高原学園広報活動の拡充と地域住民との協力による受け入れ態勢の充実 ・バイオリン等を使った教育の総合的な学習への組み込み |
| ○特別支援教育の充実 | ○教師の専門性と特別支援教育意識の向上 | ○特別支援教育に関する専門性が向上した教師90%以上 | ・特別支援教育研修会への積極的参加と校内研修の充実 |